萩ジオパーク

推進協議会だより vol.89

萩ジオパーク推進協議会

| 2022年7月29日発行 |



〒758-0041

山口県萩市大字江向602 萩・明倫学舎本館2階

0838-21-7765

8 0838-25-7767

geo@city.hagi.lg.jp

https://hagi-geopark.jp

https://www.facebook.com/HagiGeoProject



「地球を食べる食堂(須佐ホルンフェルスとケンサキイカ)」を開講しました



地球を食べる食堂の第3弾「須佐ホルンフェルスとケンサキイカ」を7月17日に開講し、 萩市内外から17名が参加しました。

まずは**須佐漁港**にて**須佐男命いか一本釣り船団長の佐々木寛さ** んにケンサキイカについてお話を伺いました。活きたケンサキイカは、須佐地域では「**須佐男命いか(すさみこといか**)」と呼ばれています。佐々木さんから、ケンサキイカの特徴やイカの釣り方を学び、獲れたイカを溜める水槽や漁船を今回特別に見せてもらいました。漁場と港が近い地形を生かして、新鮮なイカを提供できる仕組みづくりを徹底して作り上げたことなど、産地を支える生産者の努力に触れました。

ケンサキイカについてたくさん学んだあと、マイクロバスに 乗って**須佐ホルンフェルス**に移動。この日は天気が良く、マイクロバスを降りたつわぶきの館駐車場からは絶景が広がっていました。畳岩に接触している岩場まで降り、少し散策をして、**白井専門員**から畳岩の成り立ちとイカ漁との深い関係などを学びました。自分の足場付近に何かがあることを知ると、みな一同に白井専門員に向けていた顔を下へ向け、何があるのか探していました。子どもが化石を見つけると、みんな集まり、自分が立っている場所が海だったことを感じた様子でした。

お腹がすいてきたところで昼食会場の**須佐漁協**へ。昼食を食べる前に、**漁師のおかみさんによるイカの捌き**を実演して頂きました。イカの産地ならではの技に、皆さん大興奮!一瞬の活き 〆めに「すごい!」という声や、活き造りを造るおかみさんの手捌きに「おぉ!」という声があがっていました。

昼食も漁師のおかみさん方に**イカを使ったお弁当と、男命いかのお刺身**を用意して頂き、舌鼓を打っていました。自分では作ったことがない、おかみさんならではのおかずが入っており、おかみさんにレシピを聞く参加者もいました。お腹がいっぱいになったところで、講座は終わりました。今回はケンサキイカを題材に、大地と人のつながりをおいしく深掘りしました。次回もお楽しみに。







美祢の中学生たちも萩ジオパークを体験!



Mine秋吉台ジオパークから、2つの中学校の生徒さんたちが萩ジオパークに来られ、白井専門員とジオガイドの皆さんでご案内しました。6/30-7/1は伊佐中学校の皆さんが、修学旅行で来られました。1日目は萩城下町と笠山。川がつくった地質や地形を活かした町並みの工夫や、小さな火山と人々の暮らしの繋がりを、町歩きや火山実験などで体感していただきました。2日目は須佐ホルンフェルスを訪問し、ガイドさんの案内で地層や化石の観察をしたり、須佐の人々の暮らしとの関わりを学びました。

7/8には、**厚保中学校**の皆さんが来られ、萩城下町と笠山の体験プログラムに参加しました。厚保中学校は3年前から毎年のように来ていただいています。美祢市はすぐお隣の町ですが、海に面していなかったり、大地の大半が火山活動で出来ている萩と違って石灰岩地帯が広がっていたりと、萩とは環境が大きく異なります。大地の成り立ちが違えば景色も違うし、人の暮らし方も全然違います。だからこそ大地に目を向けることが大切なんだということが学べる良い機会になったのではないでしょうか。



イカす海を未来に!



日本財団の「海と日本プロジェクト」の一環でKRY山口放送さんが企画したイベント「ぶち海体験隊III イカす海を未来に!」に、白井専門員が講師として参加しました。小学生たちが海の生態系や、漁業などの産業の現状について体験の中から学び、未来のためにできることを考えるという企画です。一昨年は下関、去年は周防大島で開催され、今年は**須佐**が舞台となりました。

萩・明倫学舎で開会式の後、**水産大学校の先生**からケンサキイカの生態についての講義を聞いてから須佐に向けて出発しました。須佐では、ジオガイドさんも乗り込んだ遊覧船と、白井専門員が案内する陸路の両方から大地の景色を見学し、イカの産地が生まれた背景を学びまし

た。お昼には、**須佐一本釣り船団**の漁師の皆さんの案内でイカの水槽を見学したり、**漁協女性部**の皆さんに教わりながらイカ捌き体験をしたりした後、豪華なイカづくしランチを堪能しました。

このイベントはまだ続き、7月末には再び白井専門員が講師として登場するほか、阿武町でも海士体験をするそうです。様々な体験の後、子どもたちが海の未来をどう考え、どんなアイデアを出してくれるか、今から楽しみです。

萩ジオパークパートナー活動報告

この企画は、海からでないと近づけない海岸の海洋ゴミをシーカヤックで近づき、停泊する漁船に載せて港に運び、阿武町のゴミ集積所まで運搬するというものです。当日は参加者5名、スタッフ3名、筒尾の漁師さん1名、地域自治会長さん1名の総勢10名での活動となりました。9時にスタートし11時半までゴミを拾い、昼食後、参加者はジオサイトのモドロ岬までのツアーを、その他は港からゴミの運搬をして16時頃の終了となりました。

GI Paddlersさんより、7月16日開催の「シーカヤックで海岸清掃 &ジオサイト(モドロ岬)ツアー」をレポートして頂きました!





ゴミの量はというと、4トンダンプで2往復と膨大な量となりました。今回の限られた時間では拾いきれないゴミも多く定期的な活動が必要だと感じました。協力いただいた漁師さんや地域の方々に感謝です。



きれいな夕焼けをながめたら、ナイトハイクのはじまりです。

そこは、あなたの知らないもう1つの菊ヶ浜。 昼には見かけない生き物がいるかもしれません。五感を研ぎすまして自然の声を聞いてみよう。砂の感触、波の音、星の輝き…感動の出会いがあなたを待っています。 開催日:8月12日(金)・27日(土)

時間:19:00~20:00 集合場所:菊ヶ浜駐車場

定員:20名(先着、当日現地受付可) 対象:どなたでも(海岸で遊べる服装で)

参加費:無料

予約方法:フォームまたは電話でお申し込みください



8月の予定

- **須佐ホルンフェルスジオアドベンチャー** 8月7日(日)、8月28日(日) 時間:10:00~11:00(60分) 集合場所:つわぶきの館(萩市須佐7905-1) 料金:大人1000円、小中学生500円 定員:15名(3日前までに電話またはメールフォームで申し込み) 主催・問い合わせ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- **夏休み工作プログラム「しましま地層ボトルをつくろう」** 8月7日(日)、8月28日(日) 時間:11:00~15:00の間いつでも(10分程度) 内容:しましま地層ボトルを用いて景色を読み解く 集合場所:つわぶきの館(萩市須佐7905-1) 料金:500円 受付:当日現地受付 主催・問い合わせ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)
- 菊ヶ浜ナイトハイク 8月12日(金)、8月27日(土) ※詳しくは上記参照
- geoとも (萩ジオ友の会) 定例会 8月20日 (土) 内容:清流の里を歩きませんか… (惣田川の渓流を歩く) 主催・問い合わせ:geoとも 桂 (0838-21-7173)、中西 (080-8747-9383)
- 笠山ジオの会 笠山噴火実験&火口見学ミニツアー 8月20日(土)、8月27日(土) 時間:13:00~、14:00~、15:00~の1日3回。各回15分 内容:地元越ケ浜の皆さんを中心に活動する「笠山ジオの会」が、笠山山頂を舞台に笠山の成り立ちが分かる実験と火口見学ツアーを開催 料金:高校生以上200円、小中学生100円、乳幼児無料 受付:当日現地受付 定員:先着10名
- **夏休み工作プログラム「ドロドロ溶岩ミニ実験」** 8月20日(土)、8月27日(土) 時間:13:30~、14:30~、15:30~の1日3回。各回15分 内容:ドロドロ溶岩実験セットを用いて、景色の解説と成り立ちを紹介 場所:笠山山頂展望台 料金:300円 受付:当日現地受付 定員:先着4組 主催・問い合わせ:萩ジオパーク推進協議会(0838-21-7765)



原作:わっきー教授 画:白玉だんご

あんぜん みず **安全な水と** 第69話

トイレを世界中に

びょうどう 第68話 ジェンダー平等を じっげん 実現しよう

















わっき一数短のつぶやき

今回は、SDGs の目標 5 と目標 6 について、半田くんたちと考えてみましょう。

目標5は、「ジェンダーの平等を実現しよう」で、男女平等を 目指す社会作りに関



する目標です。すべての女性が能力を最大限に発 揮できる社会を作ることを目指しています。わっ きー教授の家では夫の地位が低いのですが、世界 ではまだまだ女性の地位が低くて、非常に多くの 差別がなされています。世界の女性の3人に1人 は、暴力被害を受けています。また、毎年約1500 万人が18才未満の児童婚を強制されています。ま た、途上国の3分の1では、女児が初等教育さえ 受けられない現状もあります。日本でも、雇用待遇 に男女差があったり、セクハラ被害も後を絶ちま せん。男女の格差を比べた 2021 年のジェンダーギ ャップ指数では、日本は世界 156 ヶ国中で 120 位 とされていて、ジェンダーの平等の点では世界的 にみて遅れています。また保育園が少ないことで、 女性が社会で活躍することが妨げられている実 態もあります。加えて LGBT と言われる性的マイ ノリティの人々への配慮も、社会的な問題になっ ています。男子脳と女子脳の比率は性別より個人 差が大きいとされているほか、ドミニカ共和国で はテストストロンシャワーの遅れで、生まれたと き女子で思春期に体が男性化する人々がいます。 本来、性別は多様なのだと思います。男性・女性と いう明確な区分に入らない人々の性の多様性を認 めて、一人一人の人間を大切にしていく社会の実 現が求められています。

目標 6 は、「安全な水とトイレを世界中に」です。 世界の約 22 億人(全人口の約 3 分の 1)は、安全な 水を自宅で利用できてないとされています。また、 安全に管理されたトイレを利用できない人は世界で約42億人(全





人口の約6割)もいて、7億人近くが、野外でトイレをすませています。衛生的に処理されてない水は子どもたちの健康に影響を与え、多くの子どもたちが、感染症や下痢などで命を落としています。アフリカ南部の約330万人の子どもたちは、水を汲むために、毎日長時間歩き続けます。日本の水道普及率は98%ですが、それでも約230万人が自宅で水道が利用できません。世界中では人口増加が進んでいます。また、地球温暖化による干ばつの増加などなどの要因も加わり、世界的な水不足が深刻になっています。

水資源は、地球の大切な遺産であり、ジオパー クの重要なテーマの一つでもあります。また、ジ オパークの運営においても、ジェンダーの平等は 大切な要素だと考えられます。その意味で、目標5 と目標6は、どちらもジオパーク活動において重 要な達成目標です。漫画にも出てきたように萩市 越ヶ浜では、水くみに行く女性の悲話が語り継が れています。ジェンダーや水の問題は、萩ジオパ ークの問題でもあります。日常の生活の中で私た ちにもできることがあるはずです。ジェンダーに ついては、家事の量だけではなく、その大変さの 違いなども話し合って、相手を思いやりながら男 女で家事を協力しあうことで、ジェンダーのバラ ンスをとっていきましょう。目標6については、 シャワーの時間を減らしたり、トイレで流す水の 量を調整したり、節水に心がけることで、私たち も貢献できると思います。ジェンダーは相手を思 いやる気持ち、水とトイレは途上国の人々を思い やる気持ちが、それぞれ大切ですね。ところで、半 田くんは、トイレ間に合ったのかなぁ?